

総評：問題や物事に対する見方、視点の転換が、明日から  
使ってみたいと思っただ。 80点です。

K：問題解決のアプローチ方法が、ここで本日は事々、か、難し  
いと思った。

P：他の参加者の問題点の掘下げが、不気味だった、感じた。

T：問題の共有、ポジティブな事、冒険心、ゴールや共通認識  
を持たせようとした。明日から実践してみたいと思っただ。

総評：100点！

← 自信のクセ。

K：本心に対策を考えてもらう。全体像を把握できていない。

P：まわりの人から初めようか、まだわからない。  
小さなチームで行うには、どうしたらいいか？

T：問題を共有し、場作り。  
問題の共有。



総評: 80点

Keep: 事実を伝ふこと。  
自らの感じの問題は全体の一部分であること。  
立場により問題の感じ方は異なる。  
4-4の問題を定義すること

Problem: 事実の根拠を述べて。

Try: 自らの4-4の問題を定義してみる。

80点 <sup>まずは</sup> (初果は実践してみたい) <sup>感じ</sup>  
\_\_\_\_\_ <sub>理由</sub> <sub>理由</sub>

K: 問題が「<sub>理由</sub>」する 問題が「問題でない」  
<sub>理由</sub> <sub>理由</sub>

P: どう改善するのた「<sub>理由</sub>」(は:のた「<sub>理由</sub>」)  
想定が4-4なのた「<sub>理由</sub>」4-4?

T: 問題の構造化

→ 情報はあるので「<sub>理由</sub>」  
<sub>理由</sub>

総評: 会社の研修でこの関わりが大事に聞けるから。80点

Keep: 問題と共有する: その重要性。  
言いたがる: 職場作り

Problem: うまくworkで意見が伝わりた

Try: 問題共有の実際  
問題に入ってあげる。抽象な表現はしないうつた  
意識

総評: 90点

K: 問題を共有できるという概念が新鮮だった。

「対策を、問題提起」のやりかたで、気づかせると思った。

P: 問題構造分析は、81aの法が、aから出た問題同士をつなげる面白かった。  
少くとも30分は、

T: 会社で21カ国システムを作るという100%、何から21カ国まで。  
Super本 勉強しろ!

総: 100点、

K: 「主体性」「自律的行動」は会社の風土変革PTで  
取り組もうとしていることと一致していました。  
目指すべき所に自信がもてました。

P: 今、自分の部署で何か取り組もうとしても上り回りが  
まきとむためのきっかけ作りをどうするか考えた。い。

T: 問題意の認識、課の目標の読みくたきを  
課でとり組んでいきたい。

自分を見つめ直さよ機会にかりました。(100点)

- ① 人は先入観をもっている  
あいかた基準は理解が不幸を招く。
- ② 先入観を捨てて根本原因を明らかにするには  
訓練が必要だと思ひました。
- ③ 現状を淡々と生かいて、一度止まって振り返りを  
一人ででもしてみようということにかりました  
思ひます。

K: プロジェクトの一部しか見ていないことが多いこと。

P: Pairの作業の時間がたりなかったこと。

チームで

T: 問題の解決を集まること

100点

総評: 実践可能な取り組みが具体的でわかりやすかった  
です。(90)

Keep: 問題の具体化の難しさと、具体化の工数(カネ: 3)が  
実践的に学ぶことができた。

Problem: チーム制ではあるものの、個々別案件に対する取組みと  
なっている際、共通意識を醸成するのが難しい。  
問題構造化後の見定めのコツなど

Try: 問題の構造化。

総評：100点

K：共同作業で構造化してみた  
Xリットが感じました。

P：ワークで書籍で学んだ事が生かして  
いらかった。

T：文章表現の禁則について社内で共有  
したい。

総評  $\frac{120}{100}$  + 100点 本頂きました!  
ありがとうございました!

K：問題構造を明確に出してみると、悩みとか解決しよう  
じゃん!と感動した。

(新着者を迎える側)だけではない)

P：新しくチームに入った側がどう頑張ればいいのかも  
知りたい。

T：問題モリカを業務だけでなく日常生活でも勉強でも使いたい!

90点

K: 単に問題といっても、メンバー間で色々な考え方があ

P: 問題表現を深く導き出すことが出来なかった。

T: まずはチーム内で問題を出してみる。

総評 90点 問題山積みなことがわかりました

自分の問題を提示できること、シェアすること

K: 問題把握のバリエーションを社内で合わせないと  
いけないなあ

P: ~~問題把握のバリエーション~~  
(SAPIDを直すって社内に言ったのは違っただけと反省)

問題架位の

T: シェアのついで、シェアの幅を



## 総評 80点

Keep... 自分が問題・事象の説明の際に不要な付加足しを  
おこなっていることに気づいた。  
今回のゼミの内容はいわゆる「教科書」に属している

Problem... 問題表現の方法は、もう少し例がほしい

Try... 文章表現の原則・整則の今後、任かに記そう

## 総評: 80点

K: テーム開発で起る問題など多く気づいた。

P: 個人で開発していることが多いため  
チームやたまたまにたのむことが多かったため  
問題を提起するのが難しかった

T: 学生~~など~~で卒業研究に生かしたい。

2019大  
学生  
バス

総評: ありがとうございます (PPTのデザインも  
ヤラうといってる)  
実は卒論に活かせる (100点!)

ト  
・問題定義は  
この枠ばうまくいって、が  
具体的に中身は!

↑  
・急なフルワーク  
学生はビビってましたw  
(でも意外に参加できた)

テ  
・テーマ関連に活かせる  
・卒論に取り入れる  
(PPTのウラ返いに力をつけて  
アクションは 送るといふ  
実行性の低いものを送る  
しようといいたこと = 気持よく  
むすめしめたので)